

鳥建クラブ、2年ぶりの全国大会出場!

駿河クラブ、代表決定戦を制し全国へ CLUB・JAPAN(女子)は初戦敗退 第30回東海地域クラブ男子・女子ソフトボール選手権大会



第30回東海地域クラブ男子・女子ソフトボール選手権大会が浜北支部主管で開催され、東海各県の代表チーム男女併せ12チームが参加。静岡県から男子の部に鳥建クラブと駿河クラブ、女子の部ではCLUB・JAPANが参加。鳥建クラブは投打が噛み合い全試合をコールド勝ちで優勝。駿河クラブは準決勝で刈屋ヶガサに破れ決勝進出は成らなかったが、代表決定戦で明和クラブに勝ち鳥建クラブとともに全国大会出場権を手に入れた。なお、CLUB JAPANは初戦でクラブ女子の雄・FUKUJYUSOU OGAKIに破れ、全国大会出場は成らなかった。

クラブ男子

【一回戦・第一試合】

硬派クラブ 00000 0
鳥建クラブ 4111X 7

【第二試合】

駿河クラブ 30310210 19
ALLSTARS 1000400 5

【準決勝・第一試合】

明和クラブ 00000 0
鳥建クラブ 0603X 9

【第二試合】

刈谷ヶガサ 0002400 6
駿河クラブ 0011120 5

【決勝】

刈谷ヶガサ 03000 3
鳥建クラブ 4033X 10

【三位決定戦】

駿河クラブ 0110140 7
明和クラブ 1010200 4



優勝の鳥建ナイン

鳥建クラブ・上 和志監督の談話

「初戦の勢いを最後まで保てたのが勝因。全国に向けて全員が集中できた結果、投打が噛み合う最高のコンディションで戦えた。全国は投打もレベルが高い。相手投手のキレの良い球をどれだけ打てるかが勝敗の鍵。」

初戦で6打点の渡辺哲平選手の談話

「満塁本塁打は真ん中高めのライズ。上手にかぶせることが出来た。弾道を見て入ると思った。外野フライでもいいと思って打席に入った。二本目は外側のライズ。」

駿河クラブ中澤裕介監督の談話

「厳しかった。前の試合(準決勝)の悪い流れを引きずっていた。準決勝は釧持でも行けたが、大事をとって加藤を先に出した。安心したわけではないが、未だ行けると思った。繋ぎが出来て良かった。打線は大振りが多かった。昨年の前全国大会はベスト8だったので、出来ればその上を狙いたい。一戦必勝で行く」



三位で全国大会を決めた駿河クラブナイン



選手宣誓のCLUB・JAPAN島津主将

【クラブ女子一回戦】

CLUB JAPAN 000100 1

FUKUJUSO OGAKI 01002X 3

CLUB・JAPAN・神山芳仁の談話

「取りこぼし。勝てた試合だった。相手投手の制球が乱れていた時に攻めが雑だった。サインプレーの徹底を図りエラー絡みの走者を必ず還すチーム力を付けたい。」



反撃を期して円陣を組むCLUB・JAPAN